



世界中の注目の中で開催されたアイスランドの首都レイキャビックでの米ソ首脳会談——十月十一日(十二日)は結局、物別れに終わつたと日本のマスコミは伝えた。

## 米中間選挙

11月4日に行われた米中間選挙の結果は、上下院とも民主党が大きな勝利をおさめた。上院では民主55、共和45と民主党が逆転して6年ぶりに過半数に達した。この共和党的大敗は、争点となつたレーガン政策に対する国民の反応といえるだろう。レーガン大統領が就任して最後に掲げた「84年まで赤字をゼロにする」という公約は、それどころか雪だるま式にふくれ上がり、昨年ついに債務国に転落した。86年度の財政赤字のぼり、貿易赤字も一七〇億ドルにのぼる見込みでいることを示している。失業率は7%台、失とりわけ農家においては、

業者八二〇万人、労働者の実質賃金はこの6年間マイナスとなり、全米一%の富裕世帯が富の大半を握るなど貧富の格差は拡大を続けている。これは投資拡大の

穀倉地帯の中西部では毎年二〇〇〇戸の農家がローンを払えず土地を追われ、二五万户に及ぶ農家が破産に追いつかれている。「レーガン農業無策」批判が火を

燃やされ、様々な妥協や譲歩もこの目的達成の為になされ、様々な妥協や譲歩もこの目的達成の為になされ、「歴史的成果のすぐ近くまで」きたのである。

(1)例外なく全ての戦略兵器を半分に減らす。(2)欧州における米ソ両国の中距離ミサイルを完全に廃絶し、

党率いる上下院議会の動きは、レーガンにとって非常に厳しいものとなるであろう。「もしレーガン革命なるものがあつたとしたら、これですべて終わつた。」との親ソ政権に対する秘密文書

を表明している。さらに情合うSDI」と強気の所信表明をした後に「納税者の

ホルムで開催されていた欧洲軍縮会議は「欧洲における信頼と安全保障構成措置および軍縮に関する最終

文書」を最後の第一七八回全体会議において正式に採択し閉会した。この会議は

二年八ヶ月にわたりつけられたものであり、この最終文書の採択までにはヘルシンキ宣言を基礎としたソ連との他の社会主義諸国連とその他の社会主義諸国との緊張緩和への努力

を明確化するため、ドル安をめざす

のサベーランス(相互監視)の三つの政策を打ち出した。

しかし、これらの政策はどれも十分な果実につながつたとはいがたく、全体として手詰まりに陥つてい

る。今回の会議の一番のねらいは、各国の経済政策のサ

イニシアチブ、東京サミットでの経済政策協調のためのサベーランス(相互監

視)の三つの政策を打ち出した。

しかし、これらの政策はどれも十分な果実につながつたとはいがたく、全体として手詰まりに陥つてい

る。今回の会議の一番のねらいは、各国の絏済政策のサ

イニシアチブ、東京サミットでの絏済政策協調のためのサベーランス(相互監

視)の三つの政策を打ち出した。

しかし、これらの政策はどれも十分な果実につながつたとはいがたく、



